

項目	富士河口湖町に関連する火山防災計画		課題	対応の方向性
	地域防災計画	火山避難計画		
①特定事象	■火口形成、火砕流・火砕サージ、噴石、溶岩流、降灰、降灰後の降雨による土石流、融雪型火山泥流(冬期の場合) ■火口、火砕流、噴石、溶岩流の範囲を縮尺10万分の1程度の地図で掲載（別紙1）	■未策定	■網羅的 （町固有の特定事象が設定されていない）	■特定事象を設定（噴火前後、噴火警戒レベル、火山現象等） ■縮尺5000分の1程度の地図で具体的にどの範囲まで影響が及ぶか記載
②避難対象地域及び避難対象者数	■溶岩流の場合 到達時間ごとに5段階の避難対象地域を設定	■未策定	■抽象的 （避難者対象数が特定されていない）	■地域ごとの対象者数、要支援者数の特定
③輸送手段	■自家用車等の所有者は各自で避難 ■非所有者はバス等により輸送	■未策定	■抽象的 （自家用車の乗合ルールやバス等の運行台数が指定されていない）	■自家用車の乗合ルールやバス等による輸送を行う際の調達台数を指定
④避難経路	■広域避難路のみを指定 （噴火時等に路線を絞り込む）	■未策定	■抽象的 （生活道路が設定されていない）	■規制を考慮した経路を設定 ■地域ごとの避難順や要支援者数の取扱い等を含めた避難誘導方法の明確化
⑤避難先 （目標地点）	■町内避難 一次避難地（明記なし） 二次避難地（●箇所指定） ■域外避難 一次集結地点→受入避難所 （笛吹市、山梨市、市川三郷町、富士川町）	■未策定	■抽象的 （一次避難地や一次集結地点が明記されていない）	■一次避難地や一次集結地点を明記 ■受入避難所の施設名を明記

